

Super GT Round 5
Suzuka Circuit
2025/08/23-24



General : Comments

今大会は49kgのサクセスウェイトを搭載しての戦いとなりました。マシンが重たくなるとブレーキングやコーナリング中にマシンの反応が鈍くなる等、色々な面で影響が出ます。ですがドライビングやセットアップそして戦略等で工夫し今大会も表彰台に上がるつもりで挑みました。

Qualify : P5

QF1は、自身が担当しました。

実はどちらがQF1を担当するかは、サーキットに入った金曜日に星野一樹監督から伝えられていました。

「今回のQF1は平峰で行く。」そう伝えられた時は良い意味でプレッシャーを感じましたし、「絶対にQF1を突破してBaguette選手に繋いで魅せる。」そういう強い気持ちが湧いてきました。FPからもQF1突破に向けてマシン作りやドライビングなど徹底的に準備をしていきました。

そして、QF1が始まりPit Outしコースへ。タイヤの温まりを上手く感じながら美味しい所をタイヤと会話し、計測4Lap目でアタックに入りました。アタック自体は最初から最後まで集中出来1'45.738をマーク。チーム無線で「平峰トップだぞ！」と言われた時はとても嬉しくて叫んでしまいました。また、何より星野一樹監督と一義総監督が喜んでくれた事がとても嬉しかったです。チームスタッフの皆にも感謝ですし、Baguette選手のQF2に繋がられてホッとしました。

そして、QF2を担当したBaguette選手は不運にもトラブルを抱えてしまい、完璧な状態ではありませんでしたが、ミスのない完璧な走りでした。ライバル勢もタイムアップしている中、最終的には5番手で予選を終了。

300km Race Finished P8

スタートは勿論Baguette選手が担当。スタートからポジションを死守し懸命に攻めていました。18Lapを終えて自身に交代。強い気持ちを持ってPit Outしました。全力で攻めていたのですが、なかなか思うようにペースを上げられず苦戦。更に色々な走りを試しながら戦っていたのですが、ラスト数周で3台に抜かれてしまい8位でチェッカーを受けてフィニッシュ。予選が良かっただけに決勝も期待を持って挑んだのですが、厳しいレースとなってしまいました。



ただただ悔しい

スポンサーの皆様、Rd5鈴鹿戦も沢山応援して頂き有難う御座いました。

予選までは、表彰台争いが出来る手応えを得ていたのですが、決勝レースでは苦戦してしまいました。

特に自分のStintで大きくポジションを落としてしまい、皆さんには申し訳なく思っています。自分の力不足です。

今回の反省点を見直して、次戦に向けてしっかりと準備して行きます。

次戦は菅生です。

菅生はコース幅が狭く1周が短いサーキットですが、とてもスリルがあって個人的には好きなサーキットです。

気持ちを次に切り替えて戦っていきます。

次戦も応援、宜しくお願い致します！













福嶋商事

